



山科朝則 県政報告 Vol.15

発行日／令和元年夏 発行／山科朝則事務所

山科朝則事務所 〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号 TEL.0233-25-8778 FAX.0233-25-8777

新庄に4年制大学を!

ごあいさつ

皆様には日頃よりご指導、ご意見を賜り心よりお礼申し上げます。

県議会議員として三期目の議席をお預かりすることとなりました。無投票当選につきましては、有権者の皆様の信任を得る機会がなく議席をお預かりすることとなり大変重い責任を感じています。

地域課題は山積しておりますが、今を生きる者の使命として次の世代にしっかりとつないでいく責任を果たしてまいります。地域の皆様の声が政治を動かします。これまで以上に多くのご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

県立新庄病院開院へ

さて、県立新庄病院は2023年に開院が予定され、現在は建物の設計が行われております。施設設備の充実はもちろんですが、新しい診療科の設置や患者用図書室の整備なども盛り込むことができました。また、周辺道路等の環境整備も行われる予定であり、より使いやすく安心できる病院になるよう準備が進められています。

「新庄に4年制大学設置」に向けて

また、県では「専門職大学」という新しい制度のもと4年制大学の設置を検討しています。専門職大学は各分野のスペシャリストを育てる大学であり、県では農林分野の大学を想定しています。県内4地域で大学がないのは新庄最上地域だけであり、新庄に大学をという長年の悲願を実現しなければなりません。先人の想いを受け県議会議員に初挑戦した時から訴えてきたことが、今実現に向かっていきます。高度な研究、実践が地域社会に還元され地元産業と連携していくことは、新庄最上地域の発展の可能性を広げることにつながります。

交通の要衝復活へ、道の駅整備

さらに、高速道路整備が着実に進んでおり、もう一度「交通の要衝」として新庄市が再生するチャンスが巡ってきました。高速道整備については縦軸と横軸の整備が進められ新庄市が物流の拠点、交流人口の拠点となりうる絶好の機会です。数十年に一度、あるいはもう二度とないかもしれないチャンスを逃すことなく利用しなければなりません。その一つとして「道の駅」の設置が考えられます。私は、物販だけでなく時間消費型、滞在型、体験型の道の駅を提案しております。農林大学校や畜産試験場、農家や福田山工業団地の企業との連携、そして地域の誇りである「縄文の女神」も地元呼びもどしたいと考えています。しかし、道の駅も競争の時代です。ほかにはないような取り組みを他地域に遅れることなく事業化しなければなりません。

持続可能な農業と地域社会

新庄最上地域の基幹産業である農業について、私は「地域政策」として取り組むべきだと考えています。大規模化が可能な地域は大いに推進するとともに、大規模化になじまない中山間地域の農業を守り、継続可能な農業にしていくことが地域の継続に結びつくと考えています。兼業しながらでも受け継いだ農地を維持できるようにすること、それが地域社会を存続させていくには必要ではないでしょうか。

昨年の豪雨災害では多くの農地が被害を受けました。私は、農地の復旧を個人負担なくできる制度づくりが、国、県、市町村の間で必要だと考えます。農地は私有地であると同時に国土でありその保全を怠れば次の災害に更なる被害をもたらしかねません。

各地区での県政報告会では、条件不利の地方に住

むことの困難さについて話す方が多くなったように思います。特に、雪の問題は高齢化が進み、老々世帯や単身世帯が増えることにより今まで以上に深刻な問題です。流雪溝整備の推進や除雪の向上など、今の暮らしを支え、この地域に住み続けてもらえる生活基盤の整備が必要です。

町内会や少人数での県政報告会も行っています。ご希望のある方はぜひご連絡ください。



山形県議会議員

山科朝則

山科朝則 レディースセミナー & 地区県政報告会



(H31.3.3開催)



※皆様に気軽に参加していただけるように少人数での県政報告会も開催しております。事務所までご連絡ください。

※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。

高速交通網の整備に連動した地域の活性化

道の駅も競争の時代。他の地域にない特色ある道の駅の事業化をスピード感をもって進め、観光客も地域の人も利用できる施設としたい。

東北中央自動車道
国道47号高規格道路
の早期完成
重要物流道路の指定と整備促進

古くから交通の要衝
として発展した地に
ふさわしい
「道の駅」の整備

道の駅を起点にした
交流人口の増加を
見込み、滞在型・体験型などの
時間消費ができる
施設にする



さまざまな産業連携により「稼ぐ力」を創出

最上地域の10年後 考察

「未来創造フォーラム」新庄で初開催

市を挟み酒田市と石巻市を「ほしい」「観光客が時間消費できる社会インフラをイイ」など高速交通網の整備の山形新幹線の利便性向上の「道の駅」建設の4年制大学の設置の国至土偶「縄文の女神」の活用をテーマにした。安達謙一郎記念財団理事の石田照雄氏(山形市出身)、須藤勇司(農上総合支庁長、井上洋一郎新庄商議所会頭の職に、フォーラム実行委員の各業代表16人が加わり率直に意見を述べ合った。井上会長がコーディネーターを務めた。

「現在の道路網では冬期の物流に不安がある。山形から新庄までノンストップの山形新幹線を新設して

(平成30年11月27日/山形新聞)



平成31年度当初予算の概要 「やまがた道の駅」緊急整備支援事業 20,210千円

皆様のご意見をお寄せください。

山科ともりのホームページ <http://www.yamashina.jp/> facebook 公開中

※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。